



3つの価値観を体現する従業員の声

GRI 2-24

私たちは経営理念のもと、

大切に3つの価値観

「挑戦」「公正」「調和」を掲げています。

これらを日々の業務のなかで、

どう意識して、どんな行動を起こしているのか。

さまざまな職種・立場の従業員の声をご紹介します。

取締役 常務執行役員 CCO※

斉藤 学



“すべての取引先は、大切なパートナーであるという考えを基本として、誠実に対応し、互いに持続的成長へとつなげていくことを目指しています。企業としてだけでなく、人としての当たり前に立ち返り、常に対等・公正な立場で接し、信頼関係を強化しながら当社グループの事業拡大を図ります。”

(スタッフ部門／50代／男性)

“顧客の品質に対する期待と要望はどんどん高まっていますが、なかには対応できない場合も。そのようなときは、直接、担当者と面談し、対応が難しい理由を丁寧に説明することで、顧客の理解を得るようにしています。顧客に対して安易な返答をしないのも、時には必要な対応です。結果として誠実さを評価いただき、関係をより深めることにつながりました。”

(事業部 営業部／30代／女性)

“ハラスメントや差別に関する相談があった場合は、関係者との面談を徹底的に行います。面談では、相手の真意を正しく理解するため傾聴に徹して、迅速かつ丁寧な対応で問題解決に努めています。これらの行動を確実に繰り返すことにより、少しずつですがハラスメントや差別を自分事として捉え、相互に指摘できる文化の醸成につなげます。”

(事業所 業務部／50代／男性)

“工事業者の選定および発注の業務においては、すべての業者に対して公正に対応し、特定の業者を不当に優遇しないよう注意して価格を交渉しています。また、業者とは対等な立場であることを意識し、良好な関係づくりに努めるとともに、一定の距離を保ち、贈収賄行為につながらないように気を付けています。”

(事業所 技術部／30代／男性)

“重要な会社資産を、巧妙化するウイルスやサイバー攻撃から保護することは、当部の重要な役割と認識して業務に取り組んでいます。さらに、セキュリティシステムによる対策だけでなく、不審メール受信時対応訓練や情報セキュリティ教育などによる対策も実施し、機密情報・個人情報漏えい防止に努めています。”

(スタッフ部門／40代／男性)

公正

社会が変化するなかで、価値観は判断の拠り所になります。価値観に照らし、一人ひとりがあらゆる場面で正しく判断し、正しい行動をとります。



※ CCO: Chief Compliance Officer
(最高コンプライアンス責任者)



3つの価値観を体現する従業員の声

“私たちの研究所では、総合職、基幹職、派遣社員など、一人ひとりの多様な得意分野を活かして機能材の開発に取り組んでいます。また、ラボスケールでの検討から製品の立ち上げまで、互いの能力を発揮しながら活躍できるよう、コミュニケーションの活性化を日頃から心がけています。”

(研究所／20代／女性)

“経営方針に掲げられている「生産性の向上」をテーマに小集団活動を進め、メンバー全員で協力してアイデアを出し合い、成果を上げてきました。その結果、事業所での活動報告会で高い評価をいただいたのは、職場が一丸となって「挑戦」し続けたからだと思います。”

(工場 製造課／40代／男性)

挑戦

経験は力になります。挑戦しないことはリスクです。日油グループは、挑戦した結果の失敗は受け入れ、一人ひとりの挑戦と協働による学びと成長を後押しします。



“私たちの職場では、日々、危険性の高い材料を取り扱っており、少しのミスが重大な災害につながる可能性があります。これを防ぐため、職場安全点検、保安責任者点検、作業標準書の見直しなどを実施。さらに、職場でのコミュニケーションを重視して、気がかり事項を積極的に吸い上げること、安全な作業環境の維持に努めています。”

(工場 製造課／50代／男性)

“育児や介護との両立といったワークライフバランスを意識し、全従業員のためになる人事制度を設計できるよう、さまざまな意見を参考にしています。私自身は、育児の影響で急な休みが発生しても迷惑がかからないよう、職場の仲間とのよい関係性づくりを日頃から意識しています。また、仕事も育児も疎かにならないように、限られた時間で仕事をこなす意識が、業務効率の向上につながっていると感じます。”

(スタッフ部門／20代／男性)

調和

「環境・社会との共生」は、化学企業の使命です。一人ひとりがレスポンシブル・ケア（責任ある配慮）をもって、常に業務を見直す姿勢が大事となります。



“持続可能な社会の実現に貢献するため、工場には製品の安定供給に加え、資源の有効利用のような環境に配慮した活動が求められます。新たな設備・技術の導入や、工程改善によるGHG・PRTR対象物質排出量の削減、分別の徹底による廃棄物の削減やリサイクル推進など、環境改善と一体となった事業活動を日々継続しています。”

(工場 環境安全管理室／50代／男性)

“化学物質に関する法令は頻繁に改正されます。製品の安全確保に向けて顧客へ正確な情報を提供できるよう、SDS（安全データシート）の作成において、専門データベースと慎重に照合しています。顧客から製品不純物に関する調査協力を要請されたケースでは、原料・工程にまつわるリスクアセスメント結果といったSDSには記載されていない情報を提供したことにより、丁寧かつ迅速な対応に感謝の声をいただきました。”

(工場 品質保証部／30代／男性)

“当事業所は危険物を取り扱っています。安全操業について周辺地域への理解を得るため、近隣区長説明会の開催、産業祭や地域清掃活動への参加、イベントの主催など、関係構築に向けた行事に力を入れています。これらの活動を通じて、地域との共生を実感できています。”

(事業所 業務部／50代／男性)